



誰が、彼を救えるのか?

『余命10年』藤井道人監督が贈る、

極上のサスペンス

日本中を震撼させた殺人事件の容疑者として逮捕され、死刑判決を受けた鎬木（横浜流星）が脱走した。逃亡し日本各地に潜伏する鎬木と出会った沙耶香（吉岡里帆）、和也（森本慎太郎）、舞（山田杏奈）そして鎬木を追う刑事・又貫（山田孝之）。又貫は沙耶香らを取り調べるが、それぞれ出会った鎬木はまったく別人のような姿だった。間一髪の逃走を繰り返す343日間。鎬木の正体とは？そして顔を変えながら日本を縦断する鎬木の「真の目的」とは。真相が明らかになったとき、信じる想いに涙があふれる感動のサスペンス！

辿り着いた真実に、心震える――



信じる、君を。この世界を。

5つの顔を持つ逃亡犯

正体 [SHOTAI]

11.29 Fri

主題歌：「太陽」ヨルシカ (Polydor Records)
原作・脚本・監督：藤井道人（「正体」光文社文庫）
監督：藤井道人 脚本：小寺和久 監修：藤井道人 音楽：大間々昂
制作プロダクション：TBSスパークル BABEL LABEL 配給：松竹
© 2024 映画「正体」製作委員会

横浜流星 吉岡里帆 森本慎太郎 山田杏奈
前田公輝 田島亮 遠藤雄弥 宮崎優 森田甘路
西田尚美 山中崇 宇野祥平 駿河太郎
木野花 田中哲司 原日出子 松重豊
山田孝之

企画・プロデュース：水木雄太 企画：福島大輔 プロデューサー：辻本珠子 阿部雅人 瀬崎秀人
撮影：川上智之 照明：上野甲子朗 録音：米澤徹 美術：松本真太郎 装飾：神戸信次 原島徳寿
衣裳：皆川美絵 キャラクタースーパーバイザー：橋本中二 ヘアメイク：西田美香 編集：古川達馬
VFXプロデューサー：平野宏治 VFXスーパーバイザー：吹谷健 カラリスト：西田賢幸
スーパーヴァイジングサウンドエディター：勝俣まさとし リレコーディングミキサー：浜田洋輔
キャスト：おおすさく 助監督：黒柳祥一 制作担当：柿本浩樹 森崎太陽
ラインプロデューサー：柴田和明
配給：松竹 © 2024 映画「正体」製作委員会 2024年/120分/カラー/5.1ch

11.29 Fri 全国公開

@shotai_movie #映画正体
<https://movies.shochiku.co.jp/shotai-movie>

TLO 富山県ロケーションオフィス

発行：富山県ロケーションオフィス（県庁観光振興室内）
発行年月：2024年11月

富山ロケーションマップ
Toyama Location Map

正体

[SHOTAI]

富山ロケーションマップ

Toyama Location Map



INTERVIEW

富山県をロケ地を選んだ決め手、ロケ地の印象は？

「ケアホームアオバ」として最適なロケ地が見つかったこと、また実際に使用されている刑務所内で撮影ができたこと、この2点が大きかったです。「ケアホームアオバ」は大変重要な場所なので、いろいろな場所で何度もロケハンしました。序盤の夏編とは対になり、冬の白さを表現出来る場所を求めていたところ、富山県ロケーションオフィスに提案頂きました。クライマックスに向けての鎬木(横浜流星)の感情にも合っていて、純白の世界にぽつんと立つロケーションがとても良かったです。刑務所は撮影許可を取るのが難しいところですが、富山刑務所は大変協力的で、ロケーションとしても暗めの居室と長い廊下が魅力的でイメージにぴったりでした。

監督・脚本

藤井道人 MICHIHITO FUJII

PROFILE

1986年生まれ。大学卒業後、2010年に映像集団BABEL LABELを設立。伊坂幸太郎原作「オー!ファーザー」(2014年)でデビュー。以降「青の帰道」(18年)、「ディアンドナイト」(19年)、「宇宙でいちばんあかるい屋根」(20年)、「ヤクザと家族 The Family」(21年)、「余命10年」(22年)、「ヴィレッジ」(23年)、「最後まで行く」(23年)、「パレード」(24年)、「青春18×2 君へと続く道」(24年)など精力的に作品を発表。



舞(山田杏奈)の実家には少し生活感が欲しかったので実際に暮らしている一軒家を希望しました。思い描いていたリビングで食卓シーンを撮影できたのでご協力頂けて感謝しています。

その他、アパートや病院でも稼働している施設で撮影させて頂き、富山のロケ地はどれも協力的でした。また、富山での撮影は大きなトラブルもなく心にゆとりをもって撮影に臨めたため、演出に専念でき大変感謝しています。

富山での撮影期間は、どのように過ごしていましたか？

キャスト、スタッフのみんなとの外食が楽しみでした。富山といえば、やっぱり海鮮！みんなでお寿司を食べに行きました。何度か通った居酒屋も覚えてますね。あとは富山のブラックラーメンが大好きで、時間を作って食べに行きました。東京でも食べられますがやっぱり富山で食べる味は格別！あの濃い味が胃に染みていく感覚がやめられない(笑)

富山の皆様にひとこと

ロケ地の方々やたくさんのエキストラの皆さんにご協力頂き、良いロケーションで良いシーンが撮れました。特に「ケアホームアオバ」での重要なクライマックスシーンは必見です！富山の皆様、ぜひ劇場でご覧ください。また、新作の構想も温めているところなので、またいつか富山で撮影をする機会があるかもしれません。その際も温かくご協力いただけると嬉しいです。

1 富山県立中央病院

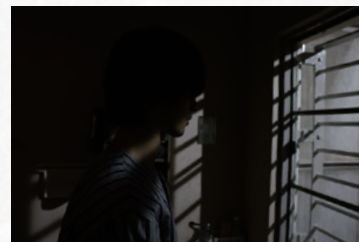
事件の目撃者・由子の入院先



空いている病室をお借りして、刑事・又貫に事情聴取されるシーンを撮影。

2 富山刑務所

鎬木が死刑囚として収監された拘置所



職員のご協力のもと、実際に使用されている居室や廊下をお借りして撮影。

3 利賀大橋

鎬木が最後に辿り着く潜伏先「ケアホームアオバ」へ続く橋



庄川峡にかかるアーチ橋で、雪景色に鮮やかな赤が映えて美しい。本作の予告編でも登場。

4 つつじ荘

鎬木が働く介護施設「ケアホームアオバ」



施設の利用者もいる中で約1週間程かけて行われた撮影。2月の寒い中、翌朝まで続いたナイトローケでは、警察、マスコミ、職員、野次馬役など大勢のボランティアエキストラのおかげで迫力あるクライマックスシーンを撮影。



監督のイメージにぴったりの中、和室の部屋だけはイメージに合わず。そこで実際にある部屋ではなく、共用スペースをお借りして地元業者の協力のもと一から建て込み由子の部屋が完成！

5 一軒家

舞が両親と暮らす家



実際にお住いの家をお借りして撮影。食卓シーンでは温かい生活感がそのままに映し出されている。

6 市営団地

鎬木のアパート



鎬木が部屋でニュースを見ているシーンを撮影。大きな窓から見える一面真っ白な雪景色が静寂さをより感じられるとロケ地に決定。

